

薬物乱用防止対策のアンケート調査結果について

平成31年3月
北海道空知総合振興局保健環境部滝川地域保健室

1 はじめに

近年、学校等における薬物乱用の有害性・危険性に関する指導など様々な取組等により全国的に未成年の覚せい剤事犯検挙人員は減少したが、大麻事犯は青少年を中心に増加傾向にある。

滝川保健所管内においては薬物乱用防止指導員が中心となり各地区のイベントに合わせて薬物乱用防止啓発を実施している。また、『ダメ、ゼッタイ。』普及運動の一つとして、毎年6月に「6・26ヤング街頭キャンペーン」※を行い、高校生のヤングボランティアに協力を得て、啓発活動をしている。さらに、滝川市内の小学校では、ライオンズクラブの方が、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター作成のDVDを使い、薬物乱用防止教室を開催し、中学校では、警察の方がDVDを持参して教室を開催している。

今後、引き続き青少年による薬物乱用の根絶に向けた取組の充実に努める必要があるため、薬物乱用防止に係るアンケート調査を今回初めて実施したのでその結果を報告する。

※6月26日の、「国際麻薬乱用撲滅デー」を踏まえ、厚生労働省、都道府県、及び（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターでは6月20日から7月19日までの1ヶ月間『ダメ、ゼッタイ。』普及運動を平成5年から実施している。

2 調査対象

滝川市内小学校6年生（全6校）、中学校3年生（全4校）

	小6	中3	計
男子	176人	169人	345人
女子	143人	134人	277人
性別不明	2人	4人	6人
計	321人	307人	628人

3 調査方法等

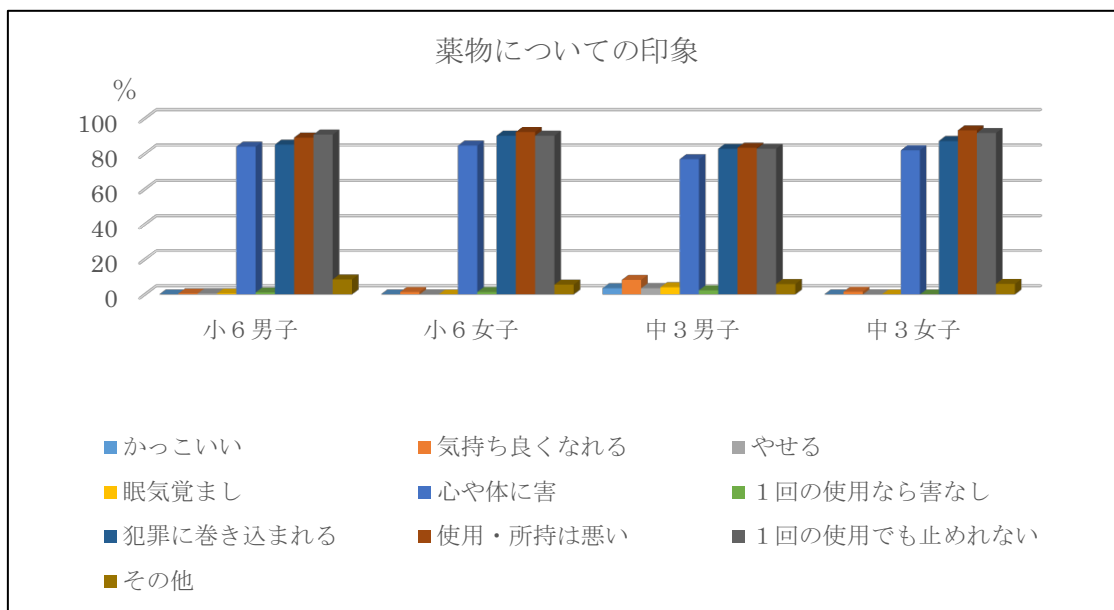
- (1) 小学6年生 薬物乱用防止教室受講直後にアンケートを実施。
- (2) 中学3年生 薬物乱用防止教室受講直後（3校）、受講後半年以上経過（1校）。

4 調査事項

文部科学省「薬物等に対する意識等調査」（平成24年）、北海道教育委員会「薬物に関する意識調査－中学校・高等学校－」（平成23年）などを参考に、「薬物に対する印象や考え方」などについて調査した。調査票は別添のとおり。

5 結果

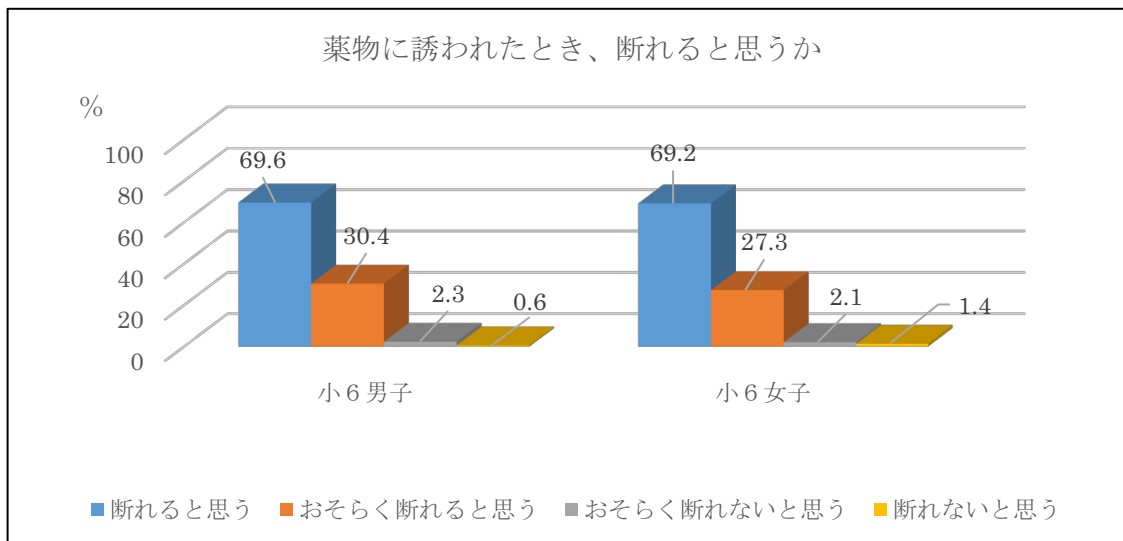
【小中共通】 Q1 薬物についての印象。(複数回答可)



薬物に対して肯定的な印象である「カッコいい」、「気持ちよくなれる気がする」、「やせるのに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」、「1回使うくらいであれば、心や体への害はない」と回答した児童生徒は、ほぼいなかったが、中学3年生男子については、肯定的な回答をした生徒が3.5～8.3%いた。

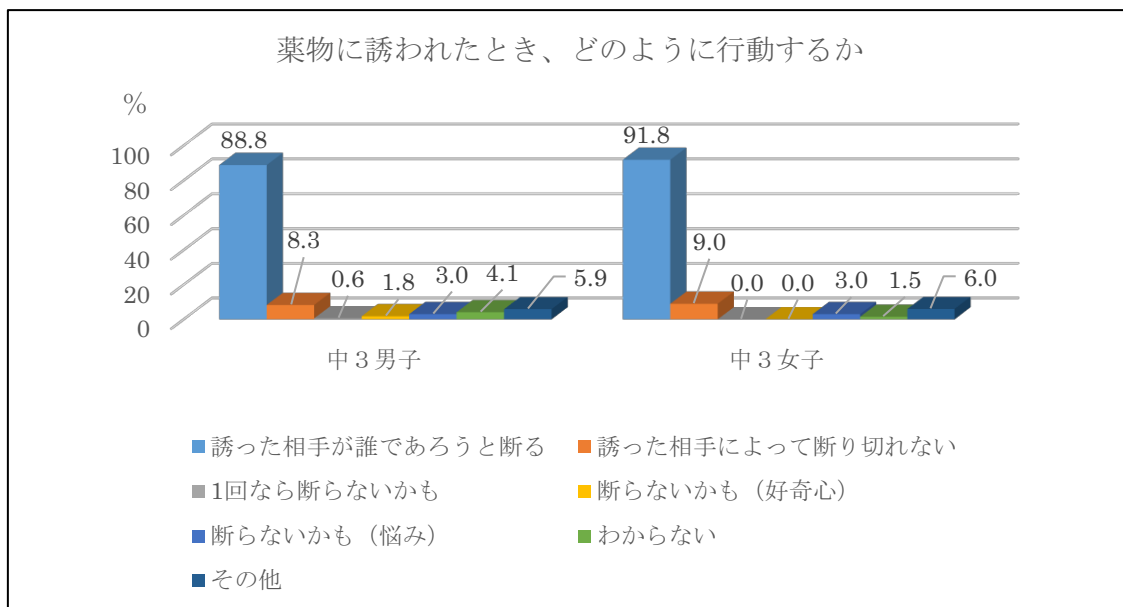
薬物に対する否定的な印象である「犯罪に巻き込まれる」、「使ったり、持っていたりするの悪いことだ」、「1回でも使うと止められなくなる」と回答した児童生徒の割合は80%を越えていた。

【小学生対象】 Q2 薬物に誘われたとき、断れると思うか。(回答数1つ)



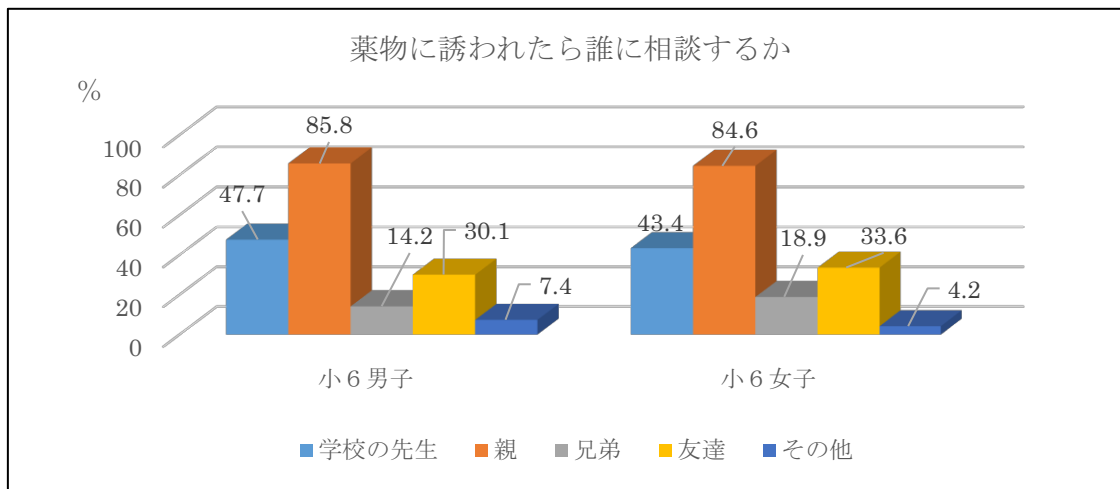
薬物乱用の誘いに対する行動については、ほとんどの児童が「断れると思う」、「おそらく断れると思う」と回答している一方で、「おそらく断れないと思う」「断れないと思う」と回答した児童が男女とも概ね3%いた。

【中学生対象】 Q2 薬物に誘われたとき、どのように行動するか。(複数回答可)



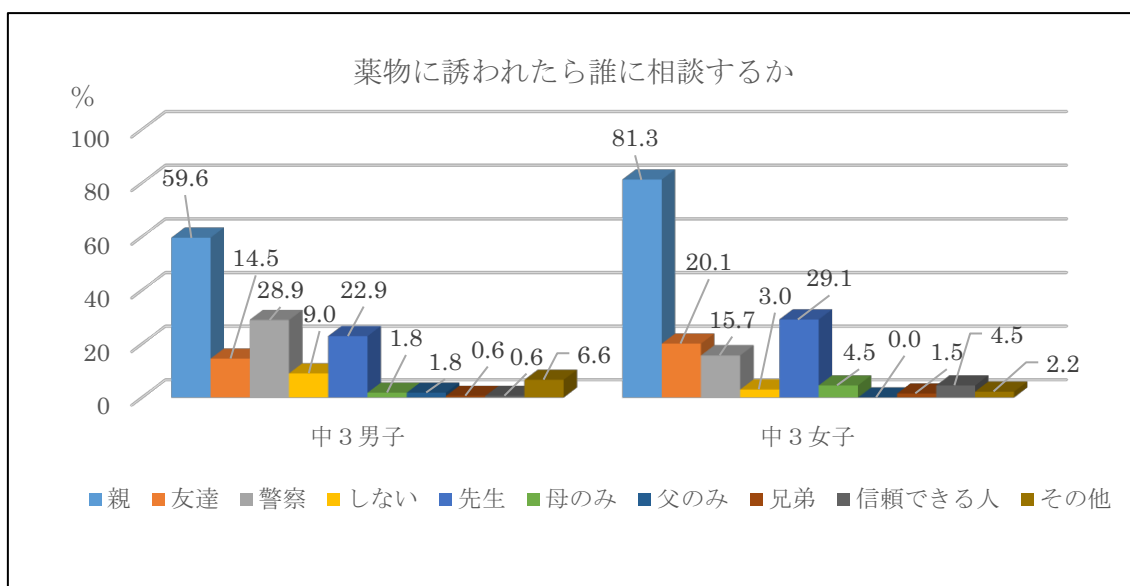
薬物乱用の誘いに対する行動については約90%の生徒が「誘った相手が誰であろうと断る」と回答した一方、男女とも10%弱の生徒が「誘った相手によっては断り切れない」と回答していた。

【小学生対象】 Q3 薬物に誘われたら誰に相談するか。(回答数2つ)



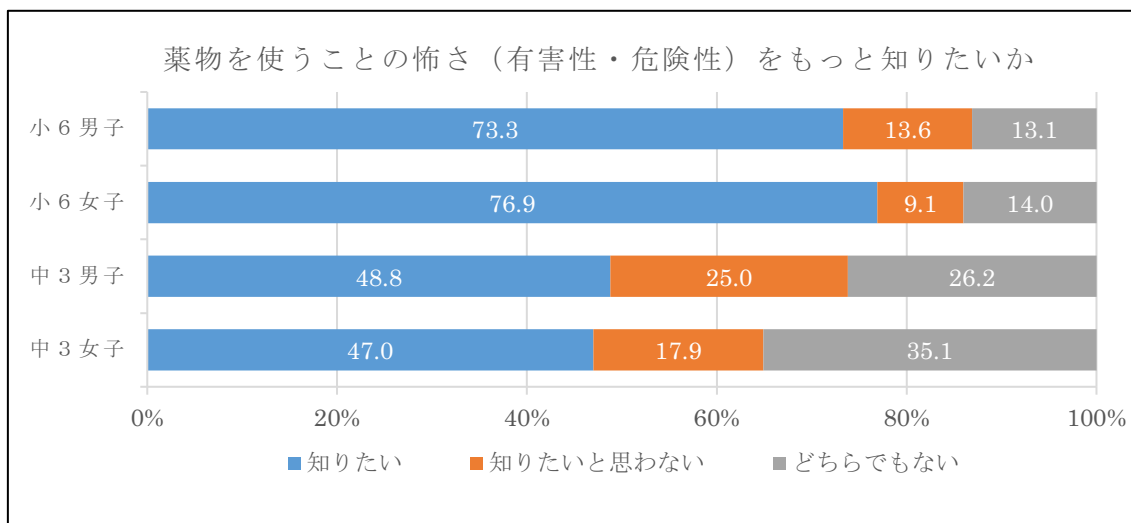
男女とも「親」と回答している児童が概ね85%だった。親の次は「学校の先生」が多く、その他の回答例としては「祖父母、警察、病院の先生、保健所の人、自分」などがあつた。また、男女ともに同様の結果であつた。

【中学生対象】 Q3 薬物に誘われたら誰に相談するか。(記述式)



薬物に誘われたら誰に相談するかについては、中学3年生男子は「親」と回答した生徒が59.6%と、中学3年生女子の81.3%と比べてかなり少なくなつていた。さらに男子は女子に比べて、「警察」「しない」と回答した割合が高く、逆に「友達」「先生」と回答した割合は少なかつた。

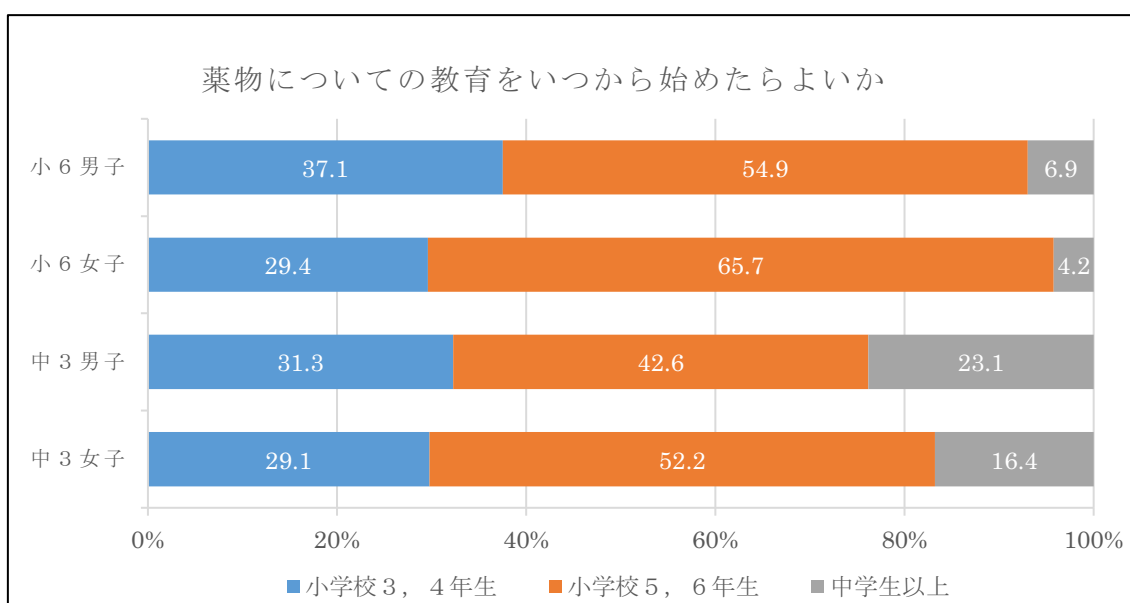
【小・中共通】 Q4 薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいか。(回答数1つ)



薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)を「もっと知りたいと思う」と回答した小学6年生は70%以上で、中学3年生は50%を下回った。小学6年生及び中学3年生の男女間で大きな差は認められなかった。

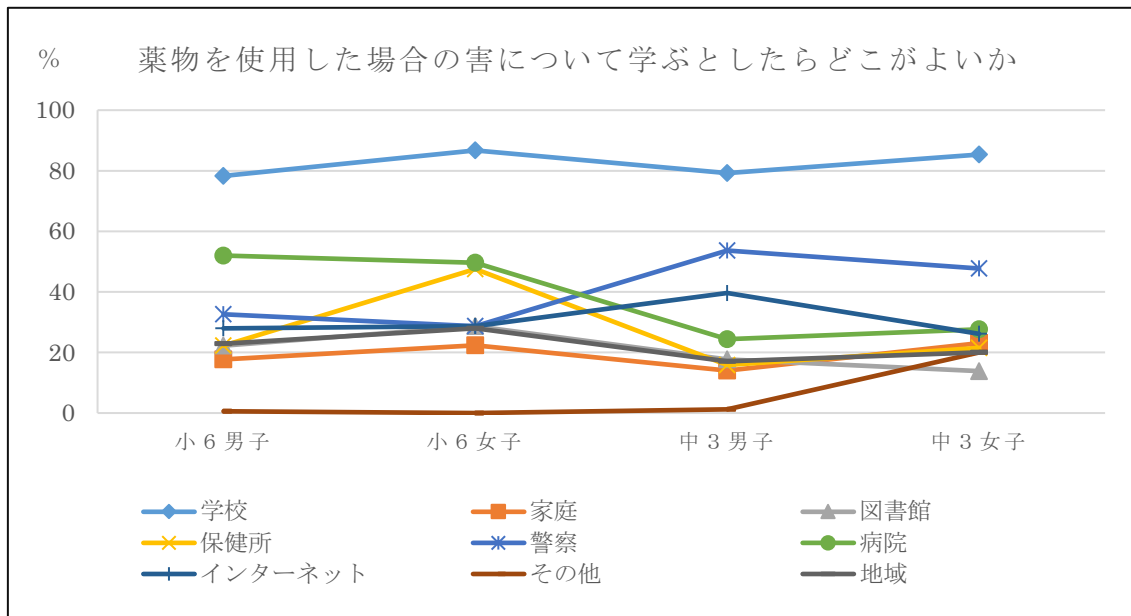
「知りたいと思わない」と回答した児童生徒の割合は、小学6年生より中学3年生の方が多く、小学6年生及び中学3年生とも女子より男子の方が多かった。

【小・中共通】 Q5 薬物についての教育をいつから始めたらよいか。(回答数1つ)



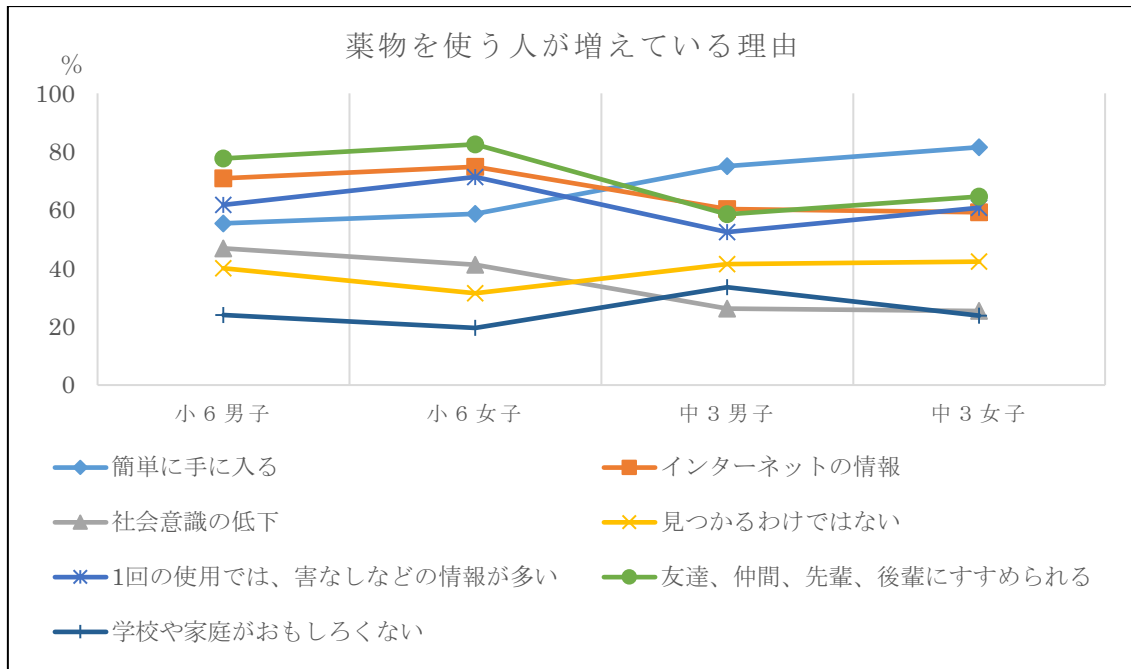
薬物についての教育を児童生徒では「小学生から始めたらよい」と答えがほとんどであったが、中学3年生については、「中学生以上」と回答した割合が小学6年生に比べると多かった。

【小・中共通】 Q6 薬物を使用した場合の害について学ぶとしたらどこがよいか。(複数回答可)



薬物を使った場合の心や体への害について学ぶのによい場所は、「学校」が最も多く小学6年生、中学3年生男女とも概ね80%であった。

【小・中共通】 Q7 薬物を使う人が増えている理由。(複数回答可)



薬物を使う人が増えている理由として小学6年生では男女とも「友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる」が最も多く、次いで「インターネットでの情報」が多かった。中学3年生では、男女とも「簡単に手に入るようになってきている」が最も多く、次いで「インターネットでの情報」「友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる」が多かった。

小学6年生アンケート結果(全6校)

A:性別

	(人)
男子	176
女子	143
性別不明	2
計	321

B:薬物について

Q1 薬物についての印象（複数回答可）

	(人)			
	男子	女子	性別不明	計
カッコいい	0	0	0	0
気持ちよくなれる	1	2	0	3
やせる	1	0	0	1
眠気覚まし	1	0	0	1
心や体に害	147	121	0	268
1回の使用なら害なし	2	2	0	4
犯罪に巻き込まれる	149	129	1	279
使用・所持は悪い	156	132	0	288
1回の使用でもやめれない	159	129	1	289
その他	(男子→ ・げんかくが見える ・犯罪ではない物、脳にはこなさそう源 ・正しく使えば安全だと思う ・クソ、ゴミ ・薬物は悪 ・危険な薬物 ・大量に使うと死んでしまう ・怖い ・ダメなもの ・脳にもわるい ・わるい人がつかっているイメージ ・他人にも被害がおよぶ ・一度だけでも死亡することがある ・すぐあぶない物 ・脳がこわれる) (女子→ ・やばそー ・死ぬ ・おそろしい物 ・怖い ・量によるのではないかと思う ・めいわくがかかる ・死んじゃう)			23
	15	8	0	
無回答	1	0	1	2
計	617	515	3	1135

Q2 薬物に誘われたとき、断れると思うか（回答数1つ）

(人)

	男子	女子	性別不明	計
断る	119	99	0	218
おそらく断る	52	39	1	92
おそらく断れない	4	3	0	7
断れない	1	2	0	3
無回答	0	0	1	1
計	176	143	2	321

Q3 薬物に誘われたら誰に相談するか（回答数2つ）

(人)

	男子	女子	性別不明	計
学校の先生	84	62	1	147
親	151	121	1	273
兄弟	25	27	0	52
友達	53	48	0	101
その他	(男子→・おばあちゃん・おじいちゃん・けいさつ・自分) (女子→・おばあちゃん・おじいちゃん・けいさつ・病院の先生・保健所などの人・親友)			19
	13	6	0	
無回答	0	0	0	0
計	313	258	2	573

Q4 薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいか（回答数1つ）

(人)

	男子	女子	性別不明	計
知りたい	129	110	1	240
知りたいと思わない	24	13	0	37
どちらでもない	23	20	0	43
無回答	0	0	1	1
計	176	143	2	321

Q5 薬物の教育をいつから始めたらよいか（回答数1つ）

(人)

	男子	女子	性別不明	計
小学校3, 4年生	65	42	1	108
小学校5, 6年生	96	94	1	191
中学生以上	12	6	0	18
無回答	2	1	0	3
計	175	143	2	320

Q6 薬物を使用した場合の害について学ぶとしたらどこがよいか（複数回答可）

(人)

	男子	女子	性別不明	計
学校	137	124	1	262
家庭	31	32	1	64
図書館	39	41	0	80
保健所	82	68	1	151
警察	57	41	0	98
病院	91	71	2	164
インターネット	49	41	0	90
その他	(男子→ ・ジム)			1
	1	0	0	
地域	40	40	1	81
無回答	1	0	0	1
計	528	458	6	992

Q7 薬物を使う人が使用が増えている理由。（複数回答可）

(人)

	男子	女子	性別不明	計
簡単に手に入る	97	84	0	181
ネットで使用を促す 情報あり	124	107	0	231
社会意識の低下	82	59	1	142
見つかるわけではない	70	45	0	115
1回の使用では、害なし などの誤った情報が多い	108	102	2	212
友達、仲間、先輩、後輩 にすすめられる	136	118	2	256
学校や家庭がおもしろく ない	42	28	0	70
無回答	1	0	0	1
計	660	543	5	1208

Q8 薬物を使用しない決意を書いてください

- ・害があるのでぜったいにしたくないです。(・脳が破壊されて害があるし・心がよごれるから ・心と体のために ・周りの人にも自分にも害しかない ・命に関わるから ・体の色々なところに悪いということがわかったから)
- ・脳やいろいろなところに害がおよぶからぜったいに使用しない。
- ・何があっても、「脳が破かいされる」ことだけは覚えておく。
- ・薬物は危険なものだからつかわない(・命を落とす危険があるので)
- ・薬物をつかうと死ぬかもしれないから(・死にたくない ・早死にするのは、いや ・死ぬのはもったいない)
- ・胸にきずがついたら、なおらないから。
- ・薬物は絶対にやりません。(・飲まない ・一生使用しません ・使わない決意をする ・大人になってもやらない ・どんなことがあっても ・怖いから ・体に悪いし、良いことがないとわかったので ・大切な人のために ・自分のためにまわりの人のために ・薬物のことを勉強する・絶対に使用してはいけないという事が分かったから ・とても危険だということを学べたので、知れたので)
- ・将来は薬物をつかわないことを決意します
- ・犯罪になるから薬物は、使用しない(・犯罪に関わりたくない)
- ・やくぶつをつかいたくない
- ・薬物＝ダメ、ゼツタイ(・「ダメ、ゼツタイ」をずっとおぼえておく)
- ・薬物を使用しても全くないことがないので使わない(・体に悪いし良いことは一つもない)
- ・誘われたとしても必ず断るし、自分でも使用しません(・友達や先輩、誰にすすめられても、断る ・もしさそわれたらにげる決意
- ・断れるような強い気持ちをもつ ・誰かに相談する ・親に相談してどのような危険があるか意識する ・命の危険があるから ・怖さを知っているから ・「いらないです」と断る ・大きくなっても断る ・こうかいしたくないから ・薬を持っているだけで断る ・今日の授業ではいけないと思ったので)
- ・薬物は一回使用しただけでもやめられなくなるから(・一度でも大変な事になるから ・一回でも使ったら死ぬとおもう)
- ・一回使用しただけでもいろんな人にめいわくをかけるので全体使用しない！
- ・社会に(親や友達にも)めいわくをかけるから薬物を使用しない
- ・これからの人生健康で生きたいから。(・長生きしたいから)
- ・薬物を使用すると友達や親が悲しむからです。
- ・健康にならないから絶対に使用しない
- ・健康な体でいよう！
- ・病気にかかりたくないから
- ・薬物を使うと気持ち悪くなから使用しない
- ・体がわるくなるのでつかいません
- ・そんな物つかうわけがないしこわすぎて……
- ・薬物乱用 反対！
- ・ぜったいやだ
- ・薬物だめ。しない。？
- ・まだ若いし、受験もある
- ・自分でかいつすればいから薬物いらない。
- ・今日の勉強で薬物のおそろしさを知ったので絶対に手を出したりしない！(・かんたんに手をださない)
- ・薬物は周りの人などにがいやしんぱいなどをされるのでダメ！
- ・薬物を使用したら、死刑などにもされてしまうかもしれないから
- ・衛法なのでしません。
- ・薬物をつかうとその後の人生に大きくかわるので使用しません
- ・まちがった人生を歩かないように人間として生きていく。
- ・使う意味がわからない！
- ・おかしくなるから絶対に薬物は使わない。(・頭がおかしくなるから)
- ・薬物を使用することも使用者ふやすようなことはしません
- ・防止教室でならったことを使い考えてやらない(・薬物をすすめられたら4カ条などを使う)
- ・ない

Q9 薬物乱用防止教室の感想など薬物に対して思うことを書いてください

- ・薬物は改めて、ダメ。ゼツタイ。と思った。(最初から思ってた・人生がだいなしになるから・人にとって有害だから)
- ・薬物は、ダメ。ゼツタイ。です(・という意味がわかった)
- ・勉強になった(・とてもわかりやすかったです・知らないことを、たくさん知れてよかった・いろいろなことを学んでよくわかった・すぐおもしろかった・おそろしさを教えてくれた・前よりもっと知れてよかった・なにも知らなかったから勉強になりました・教科書にのっていないことが知れた・危険なことが知れた・ダメだということがわかった・どんな作用があるのかをくわしく知れた・もっと知りたいと思った・またお願いします・授業で習ったこと以外にも、知れた)
- ・学校でならってないことやわかりやすくビデオでも説明してくれたのでわかりやすく、勉強になりました。
- ・薬物を使うとどのようなことがおこるのが分かってよかった。
- ・くわしく知れたり心や体のどこに害があるか知れてよかった！！
- ・薬物は1回使用しても、持っているだけでも絶対だめだと思いました。最近使用している人が多いと聞いたので、すすめられても断る勇気が必要だと思いました。
- ・とてもわかりやすかったです。ありえないと思う！！
- ・薬物は1回使用しただけでも、とても危険で恐ろしいことだということがわかった。(・戻れなくなる、やめられないから・害がある・心や脳にもえいきょうがあるのにびっくりした)
- ・薬物をあまくみていたけど薬物はすごくおそろしい物だとして絶対に使いたくないと思った
- ・薬物(大麻なども)は1回でも使うと、死にあたることもあると教わったので絶対に使わないと思いました(死んでしまうと聞いてとてもビックリした・作る人もダメな人だと思う)
- ・薬物のこわさや危険が改めて知れて良かった(・役にたった・本当に怖い物なんだと思った)
- ・薬物が広まらないようにしてほしい。
- ・やくぶつをつかわないほうがいい。
- ・DVDを見て、より、わかりやすく、ぜったいにしちやだめということがよくわかりました。ありがとうございました。(・分かりやすく、教えてくれたり、私たちが知らなかったことが知れてよかったと思います・ていねいに薬物の事を教えてくださって、とても勉強になりました)
- ・薬物を使用して顔が変わってしまった人を見ておどろいた。
- ・薬物乱用すると、体に害があることがわかったので(絶対に)しないようにしたい。(・たくさんの害があつてとても怖い・害はイヤだ・デメリットしかない・害が脳に行くと体全体が悪くなるから)
- ・薬物は危ない物だと思った。薬物は危ない物もあるけど病院でもらう薬にも害があるとは思わなかった
- ・薬物のことがよくわかった。使用すると体に害があるので使用してはいけないと思った。
- ・薬物のいろいろな害が年々ふえていくことなどいろんなことをしれてこれからは、もったきおつけようと思いました。
- ・薬物の危険さ(どうなるか)がよくわかりました。もしさそわれたら、絶対に断るようになる。
- ・薬物乱用はあらためてこわいと思いました。
- ・どうして、こんな危険な物を使おうとするのか。・薬物乱用防止教室は、とても勉強になりました。
- ・薬物はわるいものだと思った。薬物乱用防止教室は説明などわかりやすくてよかった
- ・初めは、薬物は、こんなにおそろしい物とはわからなかったけど、薬物乱用防止教室で、色々な事を教えてもらって薬物は全体にだめだと思いました。
- ・病院の薬や健康の薬でも、使い方をまちがえれば薬物乱用になるなんてこわいと思いました。
- ・薬物をまちがったつかいかたをするとあぶないことがわかりました
- ・薬物乱用についてあらためて考えさせられました。わかりやすいせつめいでした。ありがとうございました。
- ・薬物乱用はおそろしいことだから絶対に使用してはいけないと思った。
- ・薬物を乱用してはいけないということがあらためてわかった。
- ・薬物はなんのためにつくっているんだ
- ・薬物乱用はとても危険だとあらためて思いました。
- ・改めて、危険ということがわかったので周りにも広めていきたい。
- ・とてもきけんで、人生が台なしになるもの
- ・薬物のきけんさがよくわかった。
- ・すぐきけんでぜったい薬物乱用してはいけないというのがよくわかった。
- ・説明わかりやすかったです。もっとけいさつがとりしまりをしたらいいと思う

- ・今日の勉強は、教科書でも知れないようなことが知れてよかったとおもいました
- ・いろいろ教えてもらってあらためて薬物のおそろしさがわかった
- ・もっといろんな種類の薬物を教えてもらって防ぎたい。
- ・もともと使いたいとは思ってないけど、今日あらためて、使ってはいけないと思いました。
- ・薬物を使うことはダメだと思うから使って人生をダメにした人にも教えてあげたい
- ・薬物はぜったいに持ったりしてはいけないとわかった
- ・絶対、使わない(・薬物が危険だから ・おそろしいものだとわかりました)
- ・薬物を売る人はひどいと思った
- ・自分がそうなるかもしれないから、今日はすごく勉強になった。薬物の怖さをよく知れた。
- ・薬物は本当に悪いもので何でそれを使ってしまうのかわからなかった。
- ・薬物は改めて怖いし気を付けたいです。
- ・薬物を使っている人にはあまり関わりたくないと思った。
- ・薬物乱用防止教室の話を聞いて色んなことを知れたので良かったと思います。
- ・知らなかったことなど使用したあとのしょうじょうまでくわしくおしえてくれたから、もしさそわれたらことわれるゆうきが出てきた。
- ・感想は薬物のおさがりができた。使いたくない。
- ・教科書にのっていない薬物のこわさやおそろしさを知ったので絶対やらないようにしようと思いました。
- ・薬物はこわいと思いました。防止教室は続けたほうがいいと思います！
- ・今回改めて薬物の怖さを知った。自分の知らないことが多く知人にすすめられるということなのでしっかり断る勇気を持つとうと思った。
- ・教科書では学べないことを知ることができ、とても良い経験だったと思います。
- ・薬物は、脳や心臓など、人が生きていくために必要な所をダメにしてしまうので、すごく怖いし、やりたくないと思った。
- ・知らないことが知れたのでさらに気をつけようと思った
- ・とてもこわいしつかまるのもいかがと思ったからつかわないうほうがいい
- ・薬物はすごいわるい物だなと思った。
- ・薬物はなにがどうでもだめなものだと思う
- ・テレビで薬物を空こうにもちこむようなものを見たことがあるけど薬物のことがくわしくわかんなかったからわかってうれしい。
- ・何故そのような危険な薬物がこの世の中にあるのか不思議でたまらないです。
- ・薬物をあやまってつかうようなことはしないようにしたいと思いました。
- ・薬物は、友達にさそわれてもぜったいに使用しないことが一番よくわかりました。
- ・ラムネのような形のやつは分かりづらいから、きをつけようと思った
- ・あんなおかしみたいなものつかってしまうかもしれないけどできるかぎりはやくぶつは使いたくない
- ・今日薬物について学んで、ぜったいつかいたくないと思った。
- ・ねむかったけど、あんなにずっと語っていたので、改めて、薬物を使うのはダメだと思った
- ・とても分かりやすく説明していたので、薬物は、ぜったいに手にしてはいけない物だというのがあらためてよく分かった。
- ・薬物を、絶対に使ったらいけないと思った
- ・こういうとりくみがあることがいいと思った。薬物はこわいものだというのがわかった。
- ・改めて薬物のこわさを学ぶことができてよかったです
- ・薬物のおそろしさなど勉強になったので、これからは絶対にこのことを忘れないようにしたい
- ・世界では薬物による罪がいっぱいあることを知れました。
- ・ひどいのがあった。
- ・薬物が体に悪い影響をあたえることがよくわかった。薬物はぜったいにわるいことだと思う！
- ・今日話を聞いて薬物がどれだけきけんかわかった。
- ・薬物乱用についてくわしくおしえてもらうことができてよかったです。量についてもくわしくおしえてほしかったです。
- ・薬物をつかう人は、ばかだと思う
- ・とてもわかりやすく教えてくれた。薬物をとてもいけないことだと思う。
- ・薬物は、いいことは、ないのになぜつかうのかなって思いました。・

- ・ちゃんとちょうさしてると思いました。
- ・最低
- ・薬物は人に害をあたえるほか友達のいばしょがなくなったりする
- ・薬物乱用は本当にいけないと思った。
- ・いいと思う
- ・今日の教室でもっと薬物の怖さをしりました。ぼくは、絶対に使用しないようにします。
- ・薬物はだめだと思う。
- ・保健で習ったことをより深く知れて良かった。
- ・すごいなと思いました。
- ・薬物は良い効果の物もあるが、き陰な物もあるんだなと思った
- ・いい物ではない
- ・薬物を使う人ってなんでつかうのかな？
- ・今、日本では、薬物をしている人がふえているからへってほしいです。
- ・こんなにこわいののに使う人の気持ちがよく分からない。すごく勉強になったので、絶対使用しない。
- ・薬物にはいろいろな種類や怖さがある人だなと思いました。
- ・薬物はいろいろしゅるいがあつてあらためてキケンだと思った
- ・薬物をすすめてくるのは知人とか親しい人とわかったので、いつでもけいかいしていないとわなにはまってしまうということがわかりました。
- ・薬物の悪いことなどがくわしくのっていいと思いました。このような会をもっとひらいてほしいです。
- ・薬物のこわさなどがよくわかった 薬物をつかうことでどのようなことになるかよくわかった
- ・絶対に使用してはいけないことがわかりました。
- ・薬物はあぶない物だと思いました。
- ・なぜ、この世界には危険な薬物があるのだろうと思った。絶対に自分はこんなことをしてたまるかと改めて思った。
- ・保健の授業よりくわしく知れたので、薬物にさそわれてもちゃんと断れるようにしたいです。
- ・いっぱいしれて、ぜったいしないという意識が強まったので良かった
- ・薬物が早く世界から無くなってほしい。
- ・薬物はわるいものなんだな～と思いました。
- ・なぜ薬物があるのかやくぶつをしればいいのに
- ・薬物を外の人にさそわれてもしょうがない
- ・薬物本当にイヤだ
- ・ない。
- ・ふざけたらだれかをころす

中学生3年生アンケート結果(全4校)

A 性別

(人)

男子	169
女子	134
性別不明	4
計	307

B 薬物について

Q1 薬物についての印象。(複数回答可)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
カッコいい	6	0	0	6
気持ちよくなれる	14	2	0	16
やせる	6	0	0	6
眠気覚まし	7	0	0	7
心や体に害	130	109	3	242
1回の使用なら害なし	4	0	0	4
犯罪に巻きこまれる	140	116	3	259
使用、所持は悪い	141	124	3	268
1回の使用でもやめれない	140	122	3	265
その他	(男子→・やりたくない・持ったりやったりするのはどアホだ・金の無駄・頭が悪くなる・禁けんな物・絶対に手を出してはいけないもの・名前を特定して通報する・ゴミ・いぼろ・人生が終わる) (女子→・怖い・怖い物・必要ない・たいほされてしまう・危ないもの・人生を台無しにする・1度だけで人生が終わる)			18
	10	8	0	
無回答	0	1	1	1091
計	598	482	13	2182

Q2 薬物に誘われたとき、どのように行動するか。(複数回答可)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
断る	150	123	3	276
相手によって断り切れない	14	12	0	26
1回なら断らないかも	1	0	0	1
断らないかも(好奇心など)	3	0	0	3
断らないかも(悩みなど)	5	4	1	10
わからない	7	2	1	10
その他	男子→ ・走り去る ・断り切れない相手は遠回しに断る ・説得させる ・相手の乱用をできる限り止めようとする ・外に出ない ・大人にいう、物をもらって、それをすぐに警察に持って行く(使わない) ・誘った相手のことを先生や親、警察に話す ・親に報告 警察に通報 ・友達やめる ・断った後その人と一生連絡をとらない ・通報する 女子→ ・家族に相談する ・無視をする。その場から逃げる ・にげる ・何も思っていない、考えたことない ・持っているだけで犯罪だけれど、もらったまま、すぐに交番に届けて相談する！！(先生や親にもしっかり言う。) ・断れなくてももらったとしても、あとで捨てる			18
	10	8	0	
無回答	2	0	1	3
計	192	149	6	347

Q3 薬物に誘われたら誰に相談するか。(記述式)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
親	99	109	4	212
友達	24	27	0	51
警察	48	21	0	69
しない	15	4	0	19
先生	38	39	1	78
母	3	6	0	9
父	3	0	0	3
兄弟	1	2	0	3
信頼できる人	1	6	0	7
その他	男子→ ・薬物乱用防止対策北海道推進本部 ・知り合い ・大人 ・人 ・自分 ・保健所			
	女子→ ・手当たり次第全員 ・助けてくれる人たち ・祖母			
	11	3	0	14
無回答	3	0	0	3
計	246	217	5	468

Q4 薬物を使うことの怖さ(有害性・危険性)をもっと知りたいか。(回答数1つ)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
知りたい	82	63	2	147
知りたいと思わない	42	24	0	66
どちらでもない	44	47	1	92
無回答	1	0	1	2
計	169	134	4	307

Q5 薬物についての教育はいつから始めたらよいか。(回答数1つ)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
小学校3, 4年生	53	39	2	94
小学校5, 6年生	72	70	1	143
中学生以上	39	22	0	61
	5	3	1	9
計	169	134	4	307

Q6 薬物を使用した場合の害について学ぶとしたらどこがよいか。(複数回答可)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
学校	130	111	3	244
家庭	23	30	2	55
図書館	29	18	1	48
保健所	26	28	0	54
警察	88	62	2	152
病院	40	36	1	77
インターネット	65	34	1	100
その他	男子→ ・警察24時 ・コンビニやスーパー			2
	2	0		
地域	28	26	0	54
無回答	5	4	1	10
計	436	349	11	796

Q7 薬物を使う人が増えている理由。(複数回答可)

(人)

	男子	女子	性別不明	計
簡単に手に入る	123	106	3	232
インターネットの情報	99	77	2	178
社会意識の低下	43	33	1	77
見つかるわけではない	68	55	1	124
1回の使用では、害なしなどの情報が多い	86	79	3	168
友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	96	84	2	182
学校や家庭がおもしろくない	55	31	0	86
無回答	5	4	1	10
計	575	469	13	1057

Q8 薬物を使用しない決意を書いてください

- ・私は薬物を使用しません(・何があっても、どんなことがあっても、友達にすすめられても使いません ・自分自身のために使用しません ・一生、使用しません ・やりません ・やらないぞ等)
- ・絶対使用しない(・絶対しないぞ ・絶対にやりたくないです ・断固拒否 ・手は出さないの ・家族に迷惑をかけたくないから)
- ・人生を無駄にしたくないから絶対しない
- ・さそわれても絶対にことわる。自分を大切にする
- ・どんなに仲良しの友達に(親しい人や、知らない人や、誰から誘われても、何があっても)絶対に薬物は使用しません
- ・使ってしまうと害があるので絶対に使いたくないです(・薬物はやめられなくなるし、体に害がある ・自分や他人に害があることがわかっているので、絶対にしない ・薬物は体に害あり。なので1回の使用でも危険が高く、死に致ることがあるので絶対に薬物を使用しません ・自分に害があることはやりたくないので、薬物は使用しません ・体に害がある物には手を出さない・体によくないものは使用したくない)
- ・薬物ダメ絶対(・ダメなものはダメ)
- ・薬物を使ったりしたいとは思いません (・必要がないので ・使用する気は全くない)
- ・絶対に関わらない(・関わらないようにこれからも気をつける)
- ・周り(親)の迷惑にもなるし、自分がおかしくなって人生がくるってしまうのは絶対いやだ
- ・自分や自分の周りの人に害を与えたくないし自分の心がおかしくなってしまうことはやらない
- ・害があるので絶対にしない
- ・薬物は絶対にやめれないのでしません
- ・どんな人に誘われたとしても断る。もし、わたされたら、すぐに警察に相談する
- ・断る意思をちゃんともつ
- ・私は人生をくずしたくないので使いたくない
- ・VTRのような人になりたくないの誰に誘われようと絶対にしない
- ・正しい知識を身につけて進められたら断る
- ・薬物を捨てる
- ・使わないしもたないし買わない
- ・薬物をやっている人のようにアホではない
- ・現実を受けとめる
- ・1回でも使用するとやめられなくなり大変なことになるから
- ・親しい人でも悪いと思ったらちゃんと断る
- ・薬物は何があってもやってはいけないことなので誰に誘われても絶対にやらない
- ・虫なんて見たくない
- ・薬物を使用すると周りから人として見られなくなり快樂との引き換えとは釣りあわない程の社会からの孤立が待っている
- ・薬物の危険性がすぐ分かったので今後絶対に使用しない
- ・絶対何があろうと薬物には手を出さない
- ・俺はしない捕まりたくないから
- ・1回の使用で今後全てがくるってしまう薬物を使用しません
- ・自分以外にも迷惑はかけない
- ・誰に誘われても薬物は絶対にしない
- ・薬物にたよらないと生きていけないぐらいだったら、ごはんたくさん食べる
- ・薬物なんかで人生をこわしたくないので絶対やらない
- ・薬物なんかで人生を捨てたくないの薬物をやらない
- ・薬物乱用は危険
- ・とてもしないこと。だめなことはいない

- ・薬物を使うと心と身体が壊れるのでぜったいだめ
- ・いやや
- ・たぶんしないよ・・・たぶんね
- ・誰に誘われても絶対に断る。手を出さない
- ・薬物についてのことは興味を持たない
- ・薬物に興味を持たないようにする
- ・白い粉やあやしいものからさけて生活する
- ・自分や周りの人に迷惑かかるから絶対に薬物と関わりもたない
- ・先生相談人生がこわれるから絶対に使用しない
- ・薬物を使用しても、何もいいことはないので、絶対に関わらない
- ・薬物はあぶないのでつかわない
- ・2回やったら、取り返しのつかないことになることをしたので、誘われてもやりません
- ・自分の体を大切にす
- ・恐ろしくヤバイ薬だ俺でなきゃ見逃しちゃうね
- ・薬物を購入しない
- ・私は、TVなどをよく見て、薬物を乱用されてる方の写真などを見て、こんな風にはなりたくないと思いました。人生が楽しくなくなるからしたくありません
- ・わからない白い粉末は全てすてます！
- ・親からもらった大切な体を壊したくないので絶対に行きません
- ・おそろしさや危険性をまわりにも広めます
- ・私は頭も体もおかしくなりたくないので絶対にしません
- ・薬物は自分自身をこわしてしまうから使用しない
- ・身近な人と相談し使わないようにする
- ・薬物は関係などをくずす可能性があるから使用しません
- ・犯罪者になりたくないので使いません！（・犯罪はしない）
- ・周りの人にまで迷惑をかけてしまうのは絶対にいやなので絶対に薬物乱用しないそんなことにかまっている時間や金はないだから使わない
- ・誰からももらいません
- ・薬物を、一度でも使用すると人生そのものも変わってしまうと思うので全体使用しない（・元にもどれないから）
- ・薬物は健康にきけんだからやらない
- ・1回薬物を使ってしまふといっそんしていっしょうそこからぬけだせなくなってしまうから絶対に使いたくない
- ・頑張ります
- ・薬物にたよらずに生きる
- ・小学校、中学校と薬物についての怖さなどを学んできたので、使いたいと思わないし、何で使うのかもわかりません。だから絶対に使いたくないです
- ・みんながやっているからなどと周りに流されないように自分の意志で動く
- ・つかわない、もたない、つくらない
- ・サッカーなどやりたいことがたくさんあるし生活をこわしたくないから使わない
- ・薬物を使用すると他人にまでめいわくをかけてしまうので絶対にしない
- ・自分の意志を大切にす、生きていく
- ・家族・先生相談どんなことがあろうとつかわない
- ・薬物は使うとダメな人間になると思うのでゼットイ使いたくないです
- ・薬物が有害性をとてももっていると知っているので薬物を使用することは絶対にないです

- ・薬物は人をダメにするもの、薬物は使用しません
- ・何があっても、たとえ誰かに誘われたりしたら、無視をする。または、その場から逃げる
- ・薬物を使っても自分は得しないので絶対に使わない
- ・僕の一生に一度しかない人生をこのような小さいもので台無しにするのは嫌なので、絶対に薬物は使用しません
- ・金欠になりたくない。
- ・めんどろなことにまきこまれたくないのでしません
- ・誘われたりしても絶対に薬物乱用したくないので絶対にしません
- ・薬物は1回だけ使っても持っても家庭や今まで築いてきたものがこわれるから絶対にやっちはいけない
- ・薬物は死んでしまうかもしれないほど危険なので使用しない
- ・薬物を使用したら、自分だけでなく、自分の知っている人たちにもめいわくをかけてしまうから絶対に薬物を使用しない
- ・今まで教育してくださった先生方や、親を裏切りたくはありません。薬物を絶対に使用しないことを宣言します
- ・薬物を使用すると、なかなか元の人生には戻れないので、絶対に使用しません
- ・薬物は自分だけの問題ではなく、周りの人にも迷わくがかかるので薬物に全体手を出さないようにする！とくに親を悲しませることのないようにする！
- ・薬物をしてあまりいいことがないので絶対にしない
- ・もし薬物を誘ってくる人がいて断れない時こっそり警察に全て言う
- ・薬をキメて頭のおかしな人になってたいほされたりなんて絶対に嫌です
- ・何かあっても使いません 絶対ごめん 断固反対！！薬物をすすめる友達とかは友達じゃありません
- ・薬物を使用すると人生がめっちゃくちゃになるのでつかいません
- ・人生で1回も使用しない！！
- ・自分の人生壊したくないので絶対にしないです
- ・薬物の使用は危険なので絶対に使用しない
- ・薬物を使うことは、自分を傷つけることになるし、誰かがうれしくなることも、ないのでぜったいに薬物はやりません！！
- ・相手が誰であろうと、軽い気持ちでもらったり使用したりしない
- ・生活が乱れてしまうので、絶対に手を出さないようにしたい！
- ・人生をぼうにふるような事はしたくないし、犯罪で、体などにも害があるのでやりません
- ・今以上に周りにめいわくをかけたくないので絶対に使用しない
- ・絶対に使用しないし、使用する気もありません
- ・早死にはしたくないし、体の部分でも汚れたりするのがいやだし、そんな薬物を渡してくるような人とは一切関わりたくないと思った。絶対に薬物なんか使いません
- ・薬物は絶対に使用してはならないししない
- ・そんな事で自分の人生をムダにしたくない
- ・だれかにすすめられたり、ネットなどで目についたとしても絶対に乱用しない
- ・標識をみるか親に聞く
- ・一瞬の気の迷いや疲れで人生を台無しにしません

Q9 薬物乱用防止教室の感想など薬物に対して思うことを自由に書いてください

- ・とても勉強になりました(・おもしろかった ・良かった ・ものすごくわかりやすかったです ・すばらしい活動だと思います ・映像がおもしろかった、俳優かっこよかった ・よくわかりやすかったです)
- ・薬物はとてもこわいと思った(・改めて怖いと思った、怖さを知った ・怖さがわかってありがたい)
- ・薬物を使用することは怖いことだと改めて思った
- ・薬物の怖さをあらためて考えさせられた
- ・とても怖くてよくないものだと思った
- ・薬物の危険さが(改めて)よくわかった
- ・1回の薬物使用での危険性がよくわかった。自分にまったく関係のない話ではないので気をつけたいと思った
- ・危険なので絶対だめだと思った
- ・薬物はと～ても危険だよ
- ・薬物はとても危険で自分の人生を狂わすとてつもなくダメなものはダメ
- ・動画とてもわかりやすかった
- ・ドラマがけっこうリアルでこわかった。まえに家でテレビでみたのもこわかったのでさらに使わないという風に思いました
- ・薬物のビデオを見て絶対にやりたくないし、やったらダメだと思いました
- ・ビデオがわかりやすくて、あのビデオの人みたいになりたくないなあと思った
- ・ドラマ特有のなまなましがあがり恐ろしいものであることが再実感できました
- ・DVDのように名前やどこからのかが分からないような薬は使用しない
- ・ビデオなどで薬物を使用するととても怖いことがおこることがわかった
- ・ビデオの中の人が自分であると想像したらすごい恐怖を感じた
- ・ビデオを見たりして、もっとくわしく知ることができました
- ・映像で薬物を乱用した主人公がどんどん顔が青くなってやつれていくのが怖かった
- ・どれほど危険で人生に影響を与えることをよく知ることができました。ビデオが怖かったです
- ・薬物は本当に危ないんだなと改めて思った
- ・薬物が危険だということがよく分かった
- ・薬物を使うと周りの人にまで迷惑をかけてしまうからだめだという意識が高まった
- ・保健の授業では習わなかった細かい部分を教えてもらい知識を深めることができた
- ・薬物はこの世の中で一番必要ないと思う
- ・こわしたのは薬でも友人でもなく自分なのだ
- ・この学習を通して学んだことは将来役にたつと思う
- ・良い活動なので積極的に進めていった方が良いと思う
- ・薬といってすすめられることもあるのか
- ・本当に薬物はあるってはないものだと思った
- ・薬物は絶対に使用してはいけないと思いました
- ・薬物は悪い効果や体に悪いということがわかったし薬物について知ろうと思った
- ・薬物は恐ろしい物だということを改めて実感することができました
- ・特にない(・何も思わない)
- ・正しい情報を知れるのでためになった
- ・薬物は使い方を間違えると危険なものになるということが分かった
- ・薬物は絶対に使用してはいけないと思う
- ・もっとたくさんの方がちゃんと知識をもてばいいと思った
- ・なぜそのようなものが作られるのか

- ・薬物はいけないことだと改めて思った
- ・たくさんやる人がいるんだなと思った
- ・絶対に誘われても使わないように気をつけたい
- ・よりよい社会づくりが大切だと感じた
- ・薬物は簡単に手に入りすぎだと思う
- ・薬物は絶対に使用してはいけないことがわかった
- ・気をつけようと思いました
- ・友達はあまり作らないほうがいい。2人いれば充分だと思う
- ・薬物ではないか？とまず疑うことを再確認した
- ・薬物は何があても使いたくないなと思いました
- ・やったらだめだと思った
- ・薬物だめ絶対
- ・これだけ薬物はだめだと子供の頃から言われているのに大人になったらやっている人がたくさんいるのが不思議だった。自分の周りの人がやっても自分に害があるのが怖い
- ・中3だけではなくもっと早い時期に教室を開いた方がいいと思った
- ・悪いものだと思うし絶対してはいけないものだということをたくさん知れた
- ・薬物にかかわると良いことがないと思った
- ・薬物のことについて色々知れたのでよかったです
- ・注射をうってるのが怖かったです
- ・わかりやすい説明でくわしく知ることができました
- ・幻覚とかめっちゃ気持ち悪いし人生こわれるのにお金を使うとかありえないと思った
- ・薬物はやりたくないという気持ちが強まった
- ・薬物の害についてよりくわしく知ることができてよかった
- ・知っていたこととかを再確認できてよかった
- ・危険な薬物は怖い
- ・なぜたばこは成人ならいいのだろう
- ・カッコイイでもあぶない 人生おわるぞ やめろ手をだすな
- ・使用して汚い人間になりたくない
- ・症状怖すぎ
- ・薬物がどれだけ怖いかが改めてよくわかった。薬物は絶対だめなことだから、なくなればいいと思った
- ・薬物を使ったらいろんな症状がでることがわかった
- ・動画を見て薬物の怖さが改めて分かりました
- ・薬物を絶対に使わないと思いました
- ・薬物で自分以外の人も困ってしまうので、やめたほうが良いと思った
- ・薬物すべてをなくすことができるとよい
- ・体に害
- ・薬物の恐怖や怖さを知れたので使わないようにしようと思った
- ・薬物について知る良い機会になったと思う
- ・薬物は絶対しないようにしようと思った
- ・薬物について色々なことを知ることができた。絶対使いたくないと思った
- ・薬物は持つこともいけない
- ・薬物を使用するのはこれからも避けようと思った

- ・とても薬物を学ぶきっかけになった
- ・薬物の恐怖や怖さを知れたので使わないようにしようと思った危険さを詳しく知れた
- ・薬物をはじめてしまったら大変だ
- ・人が一番こわい
- ・薬物はあぶないもの
- ・薬物は、体だけではなく心にも害があることがわかった
- ・薬物の依存性の高さがあらためてよくわかった。薬物を使うことによって自分の人生だけでなく、家族の人生までも壊されてしまうことがあるので、何があっても手を出してはいけないものだということがよくわかった
- ・薬物依存症は怖いと思った(・1回使ったらやめられないから怖い ・一度で人生が狂う)
- ・薬物の依り性がすごく高いなあと思いました
- ・薬物の依存症など詳しくわかりました
- ・実際、体験した話や、ビデオを見てとても危ないことがわかった
- ・薬物がどれだけ危険なのかがわかった
- ・教科書で習ったことよりも、もっと生々しい映像を見て想像していたことよりも何倍も怖いものだと思います
- ・薬物に溺れる人は、いる
- ・クオリティーがたかいなと思った
- ・違法薬物がなくなってしまえばいい
- ・有名人なども薬物をやっていた人がいたのでびっくりしました。薬物は人生までも変えてしまうおそろしい薬なのでやりたくはないと思いました
- ・とても勉強になりました。薬物使用による悪循環に怖さを感じました
- ・本当にやってはいけないことだと思う。自分でやめられなくなるのが怖いと思った
- ・世界から消えてほしい
- ・体に害もあるし家族にもめいわくがかかる
- ・薬物乱用についていろいろなことを知れてよかったです
- ・薬物を根っこの所から全て末梢する
- ・インターネットでの情報は信じない
- ・わかりやすかった。いぞんこわいと思った
- ・本当に薬物は怖いなあと思いました
- ・あまりよくないと思う
- ・危険がよくわかってよかった。絶対にしないという気持ちが大きくなった
- ・薬物には人ごと変えてしまう力があるので絶対に使いたくないと思いました
- ・薬物がなくなればいいと思う
- ・たくさんの害が入っている
- ・薬物乱用防止教室を通して薬物の危険性が知れてよかったと思った
- ・薬物をやったら絶対に警察につかまるのでしません
- ・薬物乱用の禁止や注意のよびかけは大切だと思いました
- ・なぜ薬物乱用という行為が行われたのかきっかけを知りたい
- ・実際に使ったひとがどうなったのか知りたいと思いました
- ・やくぶつはちゅうしゃするからいやだ
- ・そもそもなぜ薬物が作られ、広まったのかもわかんないし、なぜ使おうと思うのかもわかんないです。また、インターネットなどで簡単に手に入ってうのも、おかしいと思うし、防止すべきだと思います
- ・年に2回やればもっと減ると思う
- ・薬物で得られる快感はただ単に気持ちを紛らわせているだけなのに何故金を使ってわざわざ自分の体を壊しているのだろう

- ・薬物はからだにわるいと思います
- ・これからもっと薬物乱用防止教えてくれれば良いと思う
- ・もっとたくさん薬物乱用教室を開いて、薬物を使用することは、危険だということを、知らせた方が良いと思う
- ・防止教室をやっても、する人はするから、意味がないと思う
- ・これからもつづけてほしいし、とてもためになるとかんじた
- ・小学校のときから薬物はいけないものだと思っていたけど改めてくわしく知れて良かったです
- ・薬物をカッコイイと思う人がへり、薬物は絶対に使用しないと言う人が増えるといいなと思いました
- ・違法薬物を使う人は、心がよわいと思います
- ・薬物は人と体をダメにしていく、ぜったいにいけない
- ・2回したらやめられないなど、強調したいところや考えをつけてほしいと思います
- ・1回使っただけで、警察に見つかったり体に害がある
- ・自分の立場を利用して薬物乱用させてる人が出てくるときが一番腹立たしい
- ・薬物のなにがかっこいいのかわからない
- ・薬物は体に害しかもっていないので本当にいらぬものだと思う 薬物乱用防止教室は何回でもやった方がいいと思う
- ・薬物は人と体をダメにしていく、ぜったいにいけない。、自分の体をぼろぼろにするだけでなく、人間関係の悪化社会への不信感が芽生えて、もう戻ってこれなくなってしまうのが怖いと思いました
- ・幼稚園などで幼いころからすり込みみたいに教えたらいいと思う
- ・有害なものに手を出すのはよくない
- ・逆になぜ薬物乱用がかっこいいと思うのかわからないです。薬物は体を悪くする
- ・薬物の怖さがわかるのでこれからも防止教室をしたほうがいいと思う
- ・いけないこととわかり好奇心は絶対に持たない方がいいって思った
- ・薬物乱用したら、自分だけじゃなくて周りの人にもめいわくかけちゃうから、さそわれても絶対ことわるし、友達がやっていたらすぐにやめさせる
- ・薬物についての知識を知っていることは自分のためになるので、大切だと思う
- ・薬物による誤った情報や、ストレスなどから薬物を使おうとし、探すと簡単に手に入るので気をつける。誘われてもことわる
- ・けっこうなまなましかった
- ・薬物乱用防止教室ではとても良いことが学べるので、続けていってほしい
- ・薬物がどれだけ危険なものなのかを知る、とてもよい機会になりました。薬物を使用する人が少なくなることを願います
- ・薬物はいけないものというのがこと細かに知れて良かった
- ・今まで薬物を薦められたことはなかったけど、今後あるかもしれないと思い、こわくなった。こわくなった。絶対にちゃんと断らないとなと思った
- ・薬物の危険性が映像など見て怖いものだと思う
- ・薬物の恐ろしさを改めて知りました。いっくでも早く薬物を使う人がへってほしいです！
- ・怖い・危険・良くない物
- ・現代は薬物に限らずスマホ、ゲーム、カフェイン、ネット、ギャンブル、パチンコなどいぞんにあふれてるとおも
- ・ドラマとかで分かりやすくしてよかったと思う もっと所持者や売人をきびしくとりしめるべきだと思う
- ・なぜ他のひとを誘うのか分からない
- ・薬とかを使って人生を捨てている人が理解できません。人間は薬を使うことで人格が変わったりするので、とてもボロいだと思います
- ・薬物は、体に害しかないと
- ・体の害社会への害など悪いようすがたくさんあるので絶対に使ってはいけないと思います
- ・わかりやすいせつめいと動画でわかりやすかった 薬物のキケン性がわかった
- ・薬物は体と心に影響してはいじんになる

- ・薬物は持っているだけでも捕まると聞いたのでそれぐらい怖いものなんだと思いました
- ・薬物につながるものを、この地球上からなくせばいいと思う
- ・薬物の種類が多い
- ・薬物は怖いものだと思っていたけど、更にこわいなと思った。ためになった
- ・薬物の危険を知り、もし誘われととしても、断る気持ちを持つとうと思う
- ・薬物は体に悪いし周りにめいわくをかけるもの
- ・良いと思います。薬物乱用教室のような授業があればこれからの未来でたくさん薬物を阻止できると思います
- ・薬物のこわさを大人になる前に、たくさん知ることができて良いと思いました。人ごととは思わず、近くにあるということを忘れずにいたいと思いました
- ・薬物はあぶないもの
- ・薬物使いたくない きもちわるい
- ・薬物がとてもおそろしいものだとわかったし、持っているだけでも捕まるんだなと思いました
- ・ほかにやることがないのかな？
- ・悩みごとなどがあつたら少し不安だけど、友人と気をつけながら過ごしたい
- ・薬物所持・使用は絶対にだめ
- ・薬物はダメとわかっているのに、手を染める人の気持ちがよくわからない
- ・薬物の特性などがわかった
- ・かるい気持ちで薬物を使ってはいけない
- ・ただ危険と言うだけでなんどのように危険なのかわしくしりたいです
- ・なにがあっても、薬物を使用して楽になろうとは思わない。薬物乱用防止教室は毎年あつたほうが絶対に良い
- ・薬物はすごく怖いなつと思いました。心や体がすごく悪影響をあたえるんだなつと思いました
- ・こんなにあぶないと言われているのに使う人なんているのかなつと思った
- ・人生を台無しにしたくないので絶対にやりたくないです
- ・薬物を一度でも使うのはいけないことだつと思う
- ・なんでもし、うけとつたとしても、使つてしまうのかなつと思った
- ・薬物は本当にすごい危険ということがすごくわかることを薬物乱用防止教室で教えてくださつているので、薬物に対してはカッコいいとか思わないし、人生をこわすものだつと思ってます
- ・防止教室を通して薬物を絶対に乱用してはいけないことがよくわかつた。薬物乱用を防止するための強化をもつたらいいと思う
- ・薬物乱用がなくなつたらいいと思う
- ・なくすのは難しいかもしれないが断つたりすることが大事だつと思った
- ・いろんな薬を飲んだらいろんな害がおきるのがわかつた
- ・防止教室はとても勉強になつた。何かにだまされて乱用してしまわないかが少し怖い(薬物と知らなくてなど)
- ・薬物は体の害を及ぼすものなので絶対にやらん
- ・薬物は改めて怖い物なんだと知りました。とてもお菓子とかに似ていたりするものなどもあつて危険だなつと思いました
- ・薬物について深く知ることができた

6 考察

(1)管内の調査結果と他調査との比較

「Q1 薬物についての印象」において、肯定的な印象である「かっこいい」、「気持ち良くなれる気がする」、「やせるのに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」、「1回使うくらいであれば、心や体への害はない」と回答した小学6年生男女及び中学3年生女子はほとんどいなかったが、中学3年生男子では「気持ち良くなれる気がする」と回答した割合が8.3%、その他の肯定的印象については、3.5～4.1%であった。小学6年生や中学3年生女子と比べて中学3年生男子に肯定的な印象を持つ生徒の割合が高いことについては、文科省の調査(注1)や道教委の調査(注2)結果と同様であった。

「Q2 薬物に誘われたとき、どのように行動するか」については、「誘った相手によっては断りきれない」と回答した中学3年生男子の割合は8.3%、同女子は9.0%であり、道教委調査の中学3年生男子3.7%、同女子6.0%と比較して男女とも高く、断るスキルを学習する必要があると思われた。また、女子の方が相手によっては断りにくいという回答が多かったのは道教委の調査結果と同じであった。

「Q5 薬物に誘われた誰に相談するか」については、小学生では男女の回答に違いはなかったが、中学生では男子は女子に比べて「親」「友達」「先生」と回答した割合が低く、「警察」「しない」と回答した割合が高くなっていった。そのため、特に男子中学生に対しては相談することの大切とともに、相談相手を伝えていく必要があると思われた。

「Q5 薬物についての教育をいつから始めたらよいか」については、「小学生から始めたらよい」と答えている児童生徒が約80%と高く、低年齢時から学習することが、自分にとって良いことだと感じており、小学校など早い段階からの教育を行う必要がある。

「Q6 薬物を使用した場合の害について学ぶとしたらどこがよいか」については、「学校」と回答した児童生徒が約8割と最も多く、文科省や道教委の調査と同じ傾向であったが、中学3年生男子のみ「インターネット」と答えた生徒が39.6%と、文科省調査16.8%や道教委調査14.4%と比べて高かった。

「Q7 薬物を使う人が増えている理由」として、小学6年生男女とも「友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる」と回答した割合が高かったが、中学3年生男女では「簡単に手に入るようになっていく」との回答割合が高く、文科省や道教委の調査においても同様であった。

以上のことから、今後も早い段階から継続的に薬物乱用による心身への影響など正しい知識を学ぶとともに、薬物に誘われた時の断り方を身につけることや相談相手を伝えていくことが必要と考えられる。

(2)調査結果を踏まえた取組等

滝川保健所では、各家庭内で薬物について話し合ってもらうため、アンケートの末尾に薬物を使用しない決意を記載してもらい、その中にあった「虫は見たくない」、「家族に迷惑をかけたくないから絶対に薬物を使用しない」、「薬物なんかで人生を捨てたくないで絶対にやらない」などの声を生かして、視覚的にわかりやすい啓発資材(リーフレット)及び啓発物(定規)(写真1、2)を作成し、学校を通じて児童生徒に配布した。

滝川市の小中学校では、平成18年度から滝川ライオンズクラブ会員、警察官及び教師を講師

として薬物乱用防止教室を開催しており、教室を受講した児童生徒からは「DVD等を活用し、教科書では学べない内容を学習することが出来た」との意見が多かった。このように、滝川市では地域の活動として薬物乱用防止教育に長年取り組んできたことが確実に定着しているが、より効果的な方策について地域、学校、保健所等関係機関が一体となって、継続して検討していくことが重要である。

滝川保健所では、今後も隔年で同様のアンケートを実施し、地域や関係団体と協力しながら、管内の児童生徒の薬物乱用防止に取り組んでいくこととしている。

最後に、アンケートに御協力いただいた滝川市教育委員会、各学校及び滝川ライオンズクラブをはじめ関係者の皆様に御礼申し上げます。

【図1 啓発資材（リーフレット）】

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」 ～平成30年度薬物乱用防止アンケート(*)結果から～

幻覚・妄想
 今の自分の手
 ・虫は見たくありません
 過去に見た様な虫

【現実と過去の記憶の整理がつかなくなる】

将来が台無しになる
 ・家族に迷惑をかけたくないから絶対に薬物を使用しません
 ・薬物なんかで人生を捨てたくないのだから絶対やりません
 ・1回の使用で全てがくるってしまう薬物を使用しません

感情のコントロールが効かなくなる
 ・頭も体もおかしくなりたくないから絶対しません

➢ 家族で薬物について話し合ってみましょう
 ➢ やりたいことや夢なども話し合ってみましょう

ダメ。ゼッタイ。

(*)調査対象は、滝川市内の小学6年生と中学3年生

北海道空知総合振興局保健環境部滝川地域保健室

【図2 啓発物（定規）】



9 参考文献

(注1) 文部科学省「薬物等に対する意識等調査」(平成24年)

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1338364.htm

対象 小学校(5・6年生)、中学校(全学年)、高等学校(全学年)

(注2) 北海道教育委員会「薬物に関する意識調査－中学校・高等学校－」(平成23年)

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/yakubututyousakekka.htm>

対象 中学校(全学年)、高等学校(全学年)